



フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	千葉大学
-------------	-------	-----	------

## 2. 申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

i) 学生募集停止中の大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付けられている大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

v) 大学、短期大学及び高等学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

## 3. 申請要件の取組状況

令和5年度 の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

①	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、学部を置かない大学や新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。	
	確認を受けている <input checked="" type="checkbox"/> チェック 対象に該当しない <input type="checkbox"/> チェック	
②	志願者数の状況や入学定員及び収容定員充足率等を踏まえた十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な資質保証の枠組みを活用するなど出口における資質保証にも十分留意することが重要。）	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
④	特定成長分野のうちデジタル分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑤	計画の対象となる研究科・専攻等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑥	特定成長分野のうち情報系分野に係る研究科、専攻、コース等の設置・増員（研究科、専攻の定員の増員を伴わないものを含む。）、専攻に係る課程の変更（研究科、専攻、コース等の設置・増員及び専攻に係る課程の変更に伴う学部、学科、コース等の設置・増員（学部、学科の定員の増員を伴わないものを含む。）を含む。）（以下「研究科等の設置等」という。）による体制強化の計画であること。なお、コース等の設置・増員による体制強化の場合は、学期において、コース等の専集人員数を明記する計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る研究科等の設置等の取組であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑧	教育の実績を有する既設の情報系分野に係る研究科、専攻（授与する学位が、学位種別分野変更基準に定める理学院関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学において、高度情報専門人材を育成する計画であること。（大学（特別格）については、既設の情報系分野に係る学部、学科（授与する学位が、学位種別分野変更基準に定める理学院関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学とする。）	
	既設の情報系分野に係る研究科等を有する <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑨	機構による事業計画の選定があった日から2年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる研究科等の設置等を行う計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑩	計画の対象となる研究科等の設置等において、大学院修士課程（博士前期課程を含む。）15名以上又は大学院博士課程（博士後期課程を含む。）5名以上の入学定員の増員を行う計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑪	国立大学について、大学全体の収容定員の増員を伴う学部定員の増員を行う場合は、国立大学法人の第5期中目録期最終時まで他学部・他学科を中心に同規模の定員減を行う計画であること。	
	計画通りに進んでいる、又は対象に該当しない <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑫	教員の確保・配置状況等を踏まえた実現可能性の高い計画になっていること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑬	文部科学省が実施する数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。	
	認定を受けている、又は対象に該当しない <input checked="" type="checkbox"/> チェック 認定を受ける計画が進んでいる <input type="checkbox"/> チェック	

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	千葉大学
-------------	-------	-----	------

③ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

認定を受けておらず申請する意向もない	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
--------------------	--

4. 審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和5年度 の取組実績及び申請時の計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

① 地域において自治体や企業等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
<p>新学府のカリキュラムにおいて開講する、スタートアップ概論 A、スタートアップ概論 B、スタートアップトレーニングⅠ、スタートアップトレーニングⅡでは、「スタートアップ創出」、「アントレプレナーシップ教育」などの起業についての講義、ワークショップ、グループワークを行う。この講義の講師として、地域の企業からも講師を派遣してもらい、地域の企業と連携した教育を実施する。また、地域の企業からデータを提供してもらい、実践的なデータ解析を試みるPBLの実施も検討している。さらに、千葉市産業振興財団や千葉大学学術研究・イノベーション推進機構と連携して、情報・データサイエンス分野に関わる地域の企業との共同研究や、アドバイスの実施などを行い、地域企業との連携強化を行う。</p>	<p>新学府で開講するスタートアップ概論A等における「スタートアップ創出」「アントレプレナーシップ教育」等の起業に関する講義について、地域内を含む企業のゲスト講師の参画、ワークショップ及びグループワークを実施するための準備を進めた。 令和6年度より新学部・学府が設置されることから、次年度以降、従前の工学部における実施内容及び学年進行による科目の準備・開設状況を踏まえ、地域内を含む企業と連携した教育実践、実践的なデータ解析を試みるPBLの実施及び、企業との共同研究の実施について検討を行う予定である。</p>	

② 初等中等教育段階の学校との連携に関する取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
<p>千葉大学工学部では、カリキュラム開発や高大接続推進を旨として、千葉市立千葉高等学校と高大接続事業に関する協定書を平成27年度に締結しており、継続的な模擬講義等を行っている。この協定を新学部及び学府にも広げ、連携強化を行う。さらに、令和4年に協定された千葉県立高校改革推進プランにおいて、情報教育の充実のため、千葉県立袖ヶ浦高等学校、情報コミュニケーション科に先端ITコース（仮称）が令和6年度に設置される予定であり、このコースを中心に情報教育の連携を行う予定である。</p>	<p>千葉県立袖ヶ浦高校と情報教育に関する連携を進めるため、連携のあり方やその内容等について情報交換を行った。令和6年度より新学部・学府が設置されることを踏まえ、次年度以降、工学部で行っている連携を拡充しつつ、千葉県立千葉高等学校との協定書の見直しを検討を行うとともに、情報教育に関し、千葉県立袖ヶ浦高等学校の異なる連携の在り方について検討を行う予定である。</p>	

③ 女子学生、社会人学生、留学生等の確保に向けた特色ある取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
<p>新学府の女子学生の確保に向け、後期3年博士課程学生の奨学金における女子優先枠の設置を行うことを目指す。この女子優先の奨学金制度を高校生や大学生にも広めることにより、博士号取得へのキャリアパスを早からしめ、優秀な女性科学者、女性研究者の育成に繋げる。また、新学府の令和7年度特別選抜より、学校推薦型選抜において女子枠（15名）を設置し、情報・データサイエンスに興味をもつ優秀な女子学生を確保する。これらの取組により、情報・データサイエンス分野において、大学院へ進学及び社会で活躍する女性の割合を増やすことを目指す。 また、留学生の確保として、新学府の入試において、海外在住受験者のオンライン面接の実施により、受験のための来日の負担を減らし、優秀な大学院生を確保する。さらに、千葉大学工学部・大学院融合理工学府で実施しているアジア圏の大学との交換留学プログラムである「アジア学生ワークショップ」を新学部及び学府でも実施し、後期3年博士課程学生の確保を目指す。また、新学部においても私費外国人留学生選抜を実施し、優秀な留学生の確保を行う。</p>	<p>新学部において、令和7年度学校推薦型選抜入試（定員30名（うち女子枠15名））の実施に向け、募集要項及び具体的な選抜方法等の検討を進めるとともに、令和6年度私費外国人留学生入試を実施した（最終的に2名の留学生が入学）。また、新学府の入試において、日本国外で学力検査当日に入学が出来ない等の者に対し、必要に応じてオンラインで面接が出来るよう、要件を設けることとした。 次年度以降、新学府の奨学金の女子枠について、今後実施される入試の出願者・入学者等の検証を進めながら、規模感を含めて検討を進めるとともに、「アジア学生ワークショップ」について新学部及び学府に拡充して募集を行う予定である。 また、JST国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業（BOOST）次世代AI人材育成プログラムに採択・支援（5名/年）を行うこととしており、当該プログラムの実施を通じて女子学生及び留学生の確保につなげる予定である。</p>	

④ 他の大学（外国大学を含む）、高等専門学校等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
<p>千葉大学工学部・大学院融合理工学府では、木更津工業高等専門学校及び小山工業高等専門学校と教育研究交流全般に係る連携推進のために協定を締結している。この協定を新学部及び学府にも広げ、「入試等における情報の相互交換」、「研究プロジェクトや外部資金獲得のための共同申請」、「講演会・シンポジウム等開催への相互協力」、「科学技術教育の情報交換」、「単位相互認定の検討」などの連携を進める。また、千葉工業大学との単位互換制度や、放送大学、千葉圏域コンソーシアム、国内留学プログラム等での単位互換制度を実施する。</p>	<p>令和6年度より新学部・学府が設置され、また、令和8年度より3年次編入の受入が始まるため、それに合わせて協定の拡充等の必要な検討を進めるとしている。また、全員留学を実現させるため、従前工学部で締結していた協定を、内容に応じ新学部にも拡充する準備を進めるとともに、全学で実施している留学プログラムに参画することとしている。</p>	

















大学名	千葉大学	改組内容	研究科等の設置・増員+学部等の設置・増員（一般枠）
-----	------	------	---------------------------

3-3. 学士課程

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	
大区分	小区分	項目	単位																				
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	2,317	2,317																		
		入学者数	人	2,363	2,411																		
	その他の学期	入学定員	人	0	0																		
		入学者数	人	0																			
	入学者合計	入学定員(A)	人	2,317	2,317	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	2,363	2,411	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率 (B/A)	倍	1.02	1.04	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員(C)	人	9,732	9,742																		
		編入学定員	人	70	70																		
		在籍者数(D)	人	10,338	10,408																		
		編入学者数	人	71	73																		
		収容定員充足率 (D/C)	倍	1.06	1.07																		

4. 外部資金の状況（全学）

年度			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	
項目	単位																					
外部資金獲得額	千円		11,604,451																			

特記事項

情報・データサイエンス学府情報・データサイエンス専攻、情報系組織の博士課程・修士課程及び大学全体の博士課程・修士課程・学士課程のその他の学期の入学定員0名は、若干名を示している。